



# はひねす

時津町立時津北小学校  
学校だより R7第12号

令和7年12月1日  
文責：校長 今井大輔

6年生（ふれあいゲーム交流会）…最高学年である6年生は、子供たちが主体的に考えられた地域の方々からも、「とても楽しかった」と高く評価され、感謝の感想を述べました。この3日間は、地域の方々の温かいご協力で、子どもたちの活発な心の活動と、子供たちの活躍ぶりに残る豊かな時間となりました。ご参加された皆様、ありがとうございました。



を立てながら真剣に取り組み、白熱した試合展開となりました。体育館のあちらこちらから喜びの歓声と拍手があがり、スポーツを通して一体感が生まれていきました。

特に今年度は、地域の方と子どもたちが一緒に給食を囲む交流給食を久しぶりに実施し、和やかな雰囲気の中で会話が弾みました。子供たちは、各学年の発達段階に合わせて会の進行を務めたり、感謝の気持ちを込めてメダルを用意したりするなど、企画力や感謝の心を育む貴重な学びの機会となりました。また、最終日の昼休みには、本校の卒業生である日並地区の川原珠実さん(津軽三味線)の演奏をしていただきました。

1・2・4年生(昔遊び)…コマ回しや竹とんぼ、お手玉、ビ一玉遊びなどで、地域の方に遊びのコツや歴史を教わる姿と、優しく教わる姿が見られる瞬間でした。

真剣に学ぶ子供たちの姿が見られました。地域の方々のふれあいは、見ていて私の心が温まる瞬間でした。

日間にわたり、地域の学校がふれあう「地域3  
月18日(火)から20日(木)の間で交流を深めました。ゲ  
ムなただ。地域の方や保育園の方々が遊びや活動で  
保護者の皆様に多くふれあい会」を実施しました。

## 地域と学校の「ふれあい会」.. 心温まる交流の3日間

ご協力いただきました  
地域の皆様、日並交友会  
の皆様、本当にありがとうございました！

A young boy wearing a dark baseball cap and blue gloves is kneeling on the ground, reaching up to pick an orange from a tree. He is wearing a long-sleeved dark shirt and light-colored pants. The tree has several oranges hanging from its branches.

この交流は、子供たちにとって忘れられない  
素敵なものになりました。

ご協力いただきました  
地域の皆様、日並交友会  
の皆様、本当にありがとうございました！

A young boy wearing a dark baseball cap and a long-sleeved blue shirt is crouching down, reaching up to pick an orange from a tree. He is surrounded by green leaves and branches.

収穫の秋！焼き芋で深まる交流

A group of students in school uniforms are working together to plant small trees in a garden. They are using tools like shovels and buckets to dig holes and fill them with soil. A student in a blue cap and white shirt is holding a small tree sapling, while another student in a white cap and dark shirt is nearby. The ground is brown soil, and there are fallen leaves scattered around.

日並交友会の皆様と芋掘り

つぶやき

今回、地域の方々は、「自分たちが子供の頃に経験した楽しさ、大切さを今の子供たちにも伝えたい。そして覚えていてほしい。」という強い願いから、農園や時間を提供してくださった。子供たちに豊かで確かな経験をさせたいという、大人の愛と知恵の結晶である。

子供たちは、単にみかんや芋を収穫したのではない。地域の歴史や文化、そして人との繋がりという、何物にも代えがたい宝物をいただいたのだ。このような貴重な体験の機会を与えてくださった地域の方々に、心より感謝を申し上げたい。私たちちはこの繋がりを大切にし、子供たちの未来へと繋いでいく責任がある。

ものだ。特別な行事ではなく、「暮らし」の一部として、土や火、自然と密接に関わりながら成長した。

しかし、時代は変わり、今の子供たちの生活空間から、そうした「本物」の体験は遠ざかっている。土の匂い、みかんの枝を切る時の感触、焚き火の煙、そして焼き芋のほくほくとした熱さ。これらは、メディアからは決して学べない五感を畳さぶる感動だ。

今回、地域の方々のご厚意で、3年生がみかん狩りや芋掘り、そして焼き芋体験をさせてもらつた。子供たちの弾けるような笑顔と、地域の方々の温かい眼差しがとても印象的だつた。

その焼き芋をするために、木つ端を燃やし、おき火を作つていると、ちょうど昼休みの時間と重なつたこともあり、多くの子供たちが火の周りに集まつてしまつた。たき火のそばに寄る経験がないのか、無造作に火に近づこうとする子や風下に立つていてる子などがいて、ずっと注意をしなければいけない状況だつた。

私のように昭和時代で育つた者にとつて、こういつた収穫体験や焚き火での焼き芋は、かつてはごく当たり前の日常だつた。秋になれば、烟で芋を掘り、裏山でみかんをもぎ取り、夕暮れ時には落ち葉や家庭から出る燃やせるごみを集めて焚き火をし、その火で芋を焼いて食べたり

# めほえ

～特別支援教育が特別ではなくなる日を目指して～

時津町内小中学校  
指導教諭 若杉 聰  
第4号

今年度はペアレントトレーニングについてシリーズでお知らせしています。今回はステップ3についてです。繰り返しになりますが、ステップ1からできるようになったら次のステップに順番に進める、難しい場合は前のステップに戻る、に気を付けながら進めることで大人が楽になっていくと思います。3ステップ目ということで難易度も上がりますが、達成できた時の見返りも大きいものです。それではレッツ・トレーニング！

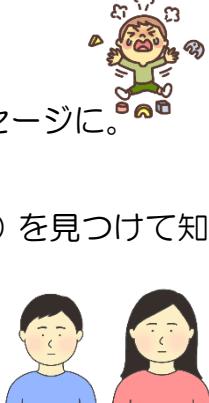
## ステップ3 ~してほしくない行動を減らすために~

〈ポイントは、してほしい行動→注目、してほしくない行動→?〉



?は注目の反対のことです。例えばバス停でバスを待っているとします。でもバスは来ません。待てど暮らせど来ません。どうします?私だったら他の方法を考えたり、今だったらスマホで情報を集めたりします。少なくとも「バスを待つ」という行為以外のことをすると思います。つまり「バスを待つ」という行為は「してほしくない行動」の例で、冒頭の?の答えは「無視をする」です。ここでの注意点として、してほしくない行動をほったらかしにすることではありません。つまり、してほしくない行動があっているときは、視線を合わせず無表情で無視していますが、ほめる準備をしておき、してほしい行動が出てきたら(してほしくない行動をやめたら)すぐにほめる事が大切です(ステップ2の内容です)。以下ポイントをまとめます。

- ・顔、体を背ける…目線を合わせず注目していないことを表現します。
- ・話題を変える…話題を変えることで今の行為には注目しないとのメッセージに。
- ・必要なことを繰り返して言う…子どもの言葉に決して合わせません。
- ・他の事(子)に注目する…その子の望ましい行為(起きてきてはいる等)を見つけて知らせます。
- ・今後は望ましくない行動に目も耳も向けず注目しないことを宣言する。
- ・怒りや落胆などの感情を表さない…無表情に徹し、溜息もNGです。



これらのポイントを押さえつつ進めてほしいところですが、やはり3ステップ目ということで、減らしたい行動の多くはイライラさせられ、我慢することは大変ですし、無視をし始めると、注意を引き戻そうと良くない行動を増やしたり程度をひどくしたりすることが考えられます。ここでさらなるポイントとして

- ・それ以外のことに集中する…家事や仕事をしながら無視。(スマホは寂しいかな…)
- ・無視を続けることは程度をひどくしてきた時期が最も大事!自分を励まして!!



無視をすることが目的ではなく、①望ましくない行動を減らし、②望ましい行動を引き出すことが目的です。①②を少しでも見つけたら声かけを!「おっ〇〇やめたね。」

今回のステップ3はステップ1・2とセットであることが最重要ポイントです。うまくいかない時は前のステップに戻って再チャレンジです。基本この3ステップで大丈夫ですが、次回はよりスムーズに進めるためのステップ4を紹介します。